

共同シンポジウム「脱成長とローカリゼーション」

～ Rio+20(地球サミット)に向けてグリーンエコノミーを考える～



お金に頼らない 「半農半ささえあい社会」 のすすめ

日時 2012年 2月19日(日)
場所

國學院大學常磐松ホール(渋谷キャンパス)

10:00～18:00

アメリカ経済の疲弊やユーロ体制の弱体化が露呈する中、格差や失業に対する不平不満から世界各地で抗議行動が起き、資本主義社会はいま、「成長の限界」に直面しているといえます。思い起こせばこの20年間、私たちは何を持続可能と思い込み、何を発展させるつもりでいたのでしょうか。2012年6月に再びリオデジャネイロで開催される地球サミットを前に、もう一度20年前のリオでの「伝説のスピーチ」(12歳の少女セヴァン・スズキの訴え)に立ち返って、グリーンエコノミーは何を目指すべきかを、再確認したいと思います。

プログラム

主催者挨拶



古沢 広祐氏
國學院大學経済学部教授

基調講演 10:05～

辻 信一氏

明治学院大学国際学部教授

「ダウンシフトで考える
脱成長社会」



第1部 エネルギーの将来を考える

10:35～ 竹村英明氏/大場紀章氏/松尾寿裕氏
[シヨトブレゼン]「ローカリゼーションの具体例」:加藤久氏

〈昼食休憩〉12:15～

第2部 食と農を地域からどう 再建するか

13:15～ 大江正章氏/篠原信氏/高橋巖氏/相川陽一氏

第3部 成長の限界から脱成長へ

15:00～ 丸山真人氏/河口真理子氏/古沢 広祐氏/
吉澤保幸氏

第4部 アースダイアログ

16:45～ 赤塚丈彦氏

全体総括 課題整理と将来展望

17:45～

定員:申込先着 150名 配布資料代:1,000円

申込方法:参加希望者はPCから下記のアドレスへ「件名:脱成長シンポ参加希望」でメールしてください。
折り返し詳細確認のウェブページと参加申込フォームをご案内させていただきます。

degrowth.jp@gmail.com

*ロビーに賛同団体紹介/書籍販売コーナーあり *終了後に別料金/別会場で交流懇親会あり

主催:共生社会システム学会(國學院大學研究開発推進センター・共存学プロジェクト共催)/NPO法人アジア太平洋資料センター(PARC)/アースデイ東京 アースダイアログ・プロジェクト/[環境・持続社会]研究センター(JACES) 企画運営事務局:一般社団法人都市生活者の農力向上委員会/アフター・ピークオイル研究会 協力:エコロジー・アーキスケーブ/コモンズ/懐かしい未来/グリーンエコノミーフォーラム/ジヤスニース/ナマケモノ倶楽部/ワールドシフト・ネットワーク・ジャパン/地球サミット 2012Japan/トランジション・ジャパン/エコ・リーグ/ GreenSophia / A SEED JAPAN / NICE / 他

※当イベントはH23年地球環境基金の助成を受けて開催します。 ※登壇者、時間は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。